

「企業版ふるさと納税」で応援をお願いします

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄附を行った場合に、寄附額の6割を当該企業の法人関係税から税額控除する仕組みです。これにより、通常の損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、**最大で寄附額の約9割が控除され、実質的な企業の負担は約1割まで圧縮**されます。

- ✓ 1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ✓ 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ✓ 本社が所在する地方公共団体の寄附については、本制度の対象となりません。

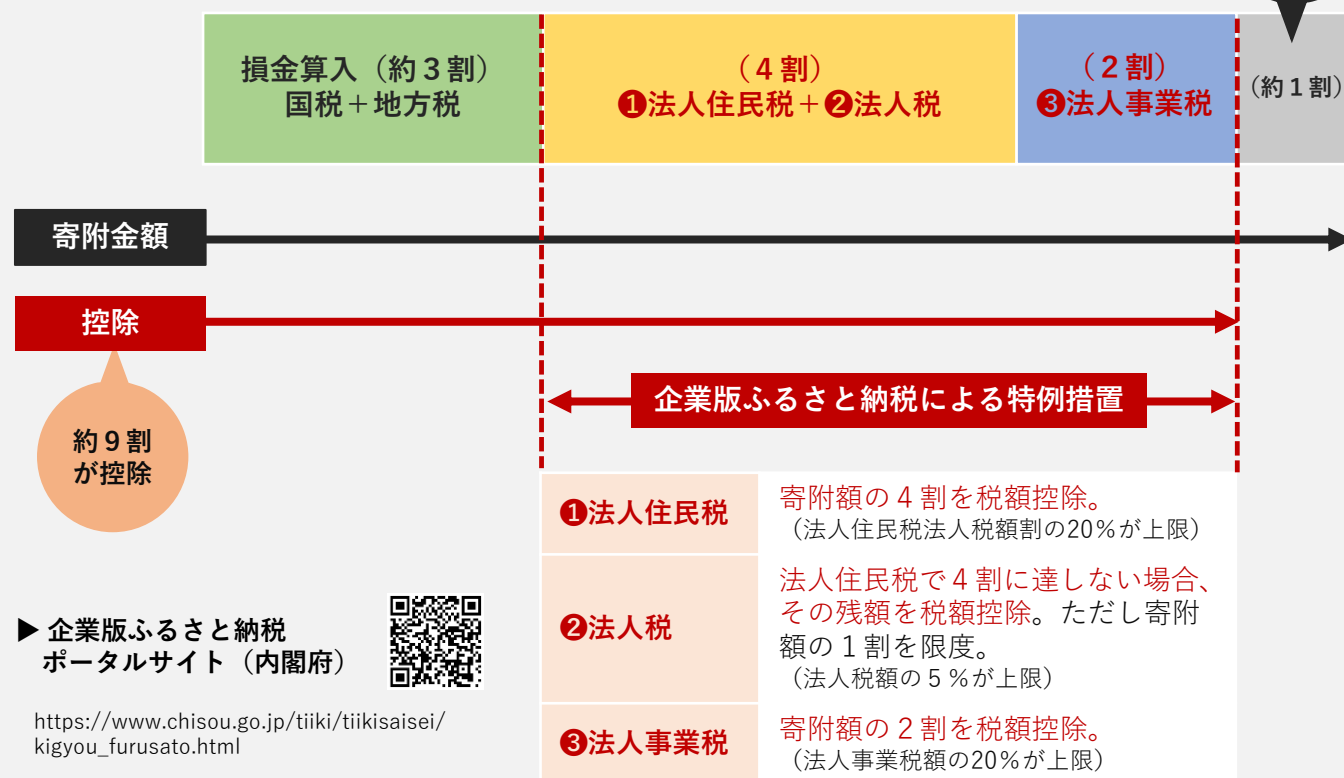
目標金額

7600万円

事業の総コスト
1億8千万円
※2024年5月時点

➤ 1千万円のご寄附で、最大**900万円が控除**されます

実質的な
企業負担



「働く人」にとっても魅力的なまちづくりを目指しています

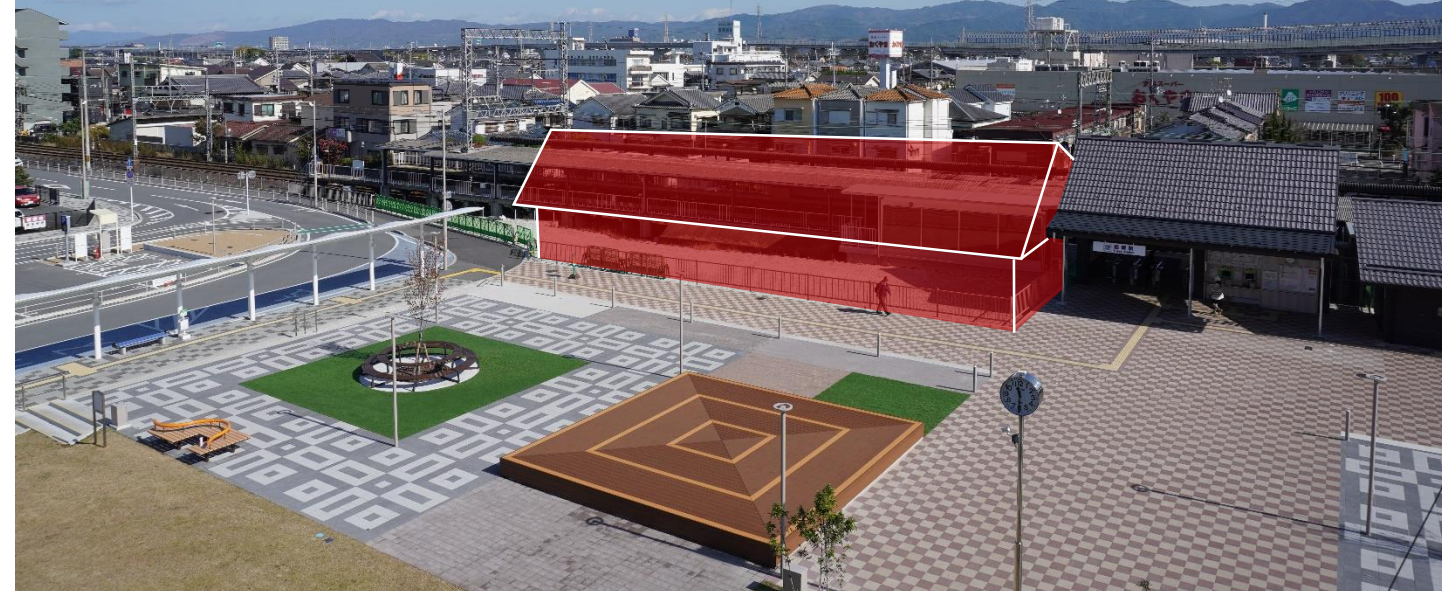
川西町はコンパクトな町域の中に産業ゾーンが2つあり、大きな企業様にも立地いただいています。町の規模に対して産業規模が大きく、働きに来られる人も多いという特徴があります。少子高齢化が進む中、持続可能な地域社会を創造していくためには、住む人だけでなく、地域の企業で働く皆さまにとっても魅力ある地域でなくてはなりません。そのために企業様と地域とのコミュニケーションを増やしながら連携機会を構築し、協創によるまちづくりを進めていきたいと考えています。企業の皆様にはこれまででもご支援いただいておりますが、引き続きの応援をいただければ幸いです。

川西町長 小澤 晃 広



企業版ふるさと納税
ご協力のお願い

近鉄結崎駅周辺が
にぎわいと交流の拠点として
パワーアップします！



奈良県磯城郡
川西町

川西町は大和平野の中央に位置する小さな町です

川西町は大和平野（奈良盆地）のほぼ中央に位置しています。主要道路へのアクセスがいいことや、県内を南北に縦断する近鉄橿原線が通っていることから、県内外への通勤利便性の高く、昭和40年以降、住宅開発が進んできました。「働きに出やすい」ということは「働きに来やすい」こととも言え、工業団地を中心に企業立地も進んできました。

南北2 k m、東西 3 k mのコンパクトな町域

川西町は面積5.93km²とコンパクトな町（全国で8番目に小さな町）ですが、市街化区域の居住エリアと商業エリア、郊外に位置する2つの工業団地、それらを覆うように広がる田園エリアなど、多様な要素を備えています。コンパクトな地域だからこそ人の動きが分散されず、まとまりのある町といえます。小さな町とはいえ、唯一の駅・近鉄結崎駅を中心に、食品スーパー、診療所、金融機関、公共施設（学校、保育所、体育館、図書館など）といった生活に必要な要素が凝縮されています。結崎駅は、町内外への移動拠点としてだけでなく、日常生活に必要な往来が集約されている場所であり、町のまとまりの「核」となる場所といえます。



企業版ふるさと納税制度を活用して

駅前の魅力向上を応援していただける企業を募集しています

本プロジェクトの趣旨に共感・賛同いただき、ご寄附いただいた企業の皆様には、

- ✓ 町の広報媒体でのご紹介・町から報道機関へのプレスリリース
- ✓ オープン式典でのご紹介
- ✓ 設置する施設内への寄附企業の名称掲示

等を予定しています。寄附の紹介とあわせて、企業紹介をさせていただくことで、住民が企業活動や社会貢献活動を理解し、地域と企業が身近な存在に感じてもらえるきっかけとなればと考えております。皆様からのご支援をお願いします。

何かしたくなる

楽しむ姿を魅せることで、
ワクワクが拡大

つい居たくなる
居心地が良く思い思いに
過ごせる、第3の場所



みんなが使える交流施設

住む人も

- 住民等によるチャレンジショップや日常の創作活動の披露の場として活用することで、駅利用者と地域住民の接点になります。
- 既存事業者がポップアップストアとしてスポット出店。
- 日常の交流やイベントの場としてにぎわいの拠点に。

働く人も

- 駅利用者の待合い環境向上。
- 社外での簡易な面談・ミーティングやWi-Fiによるモバイルワークに活用。
- 企業が実施するPR活動や地域交流活動にも活用。

町内企業の
送迎バスの
乗降で
毎日利用

従業員の皆さまの通勤環境の向上に貢献します

- ✓ 従業員の皆さまの待合い環境をクリーンで安全な環境に（交番による抑止効果）
- ✓ 従業員の皆さまが送迎バスの待合いで過ごす時間が充実（飲食系サービスやベンチなどの休憩スペース）
- ✓ 従業員の皆さまが電車降車後、雨に濡れずにバスシェルターへ移動（屋根下広場をつたった移動）



住民活動が活発でチャレンジしやすい町

川西町では、5.93km²の中に約8,200人の住民が生活をしています。コンパクトな町域であることから、**一人ひとり顔の見える町で、地域づくりへの参加意識が高い人が多く活躍**しています。

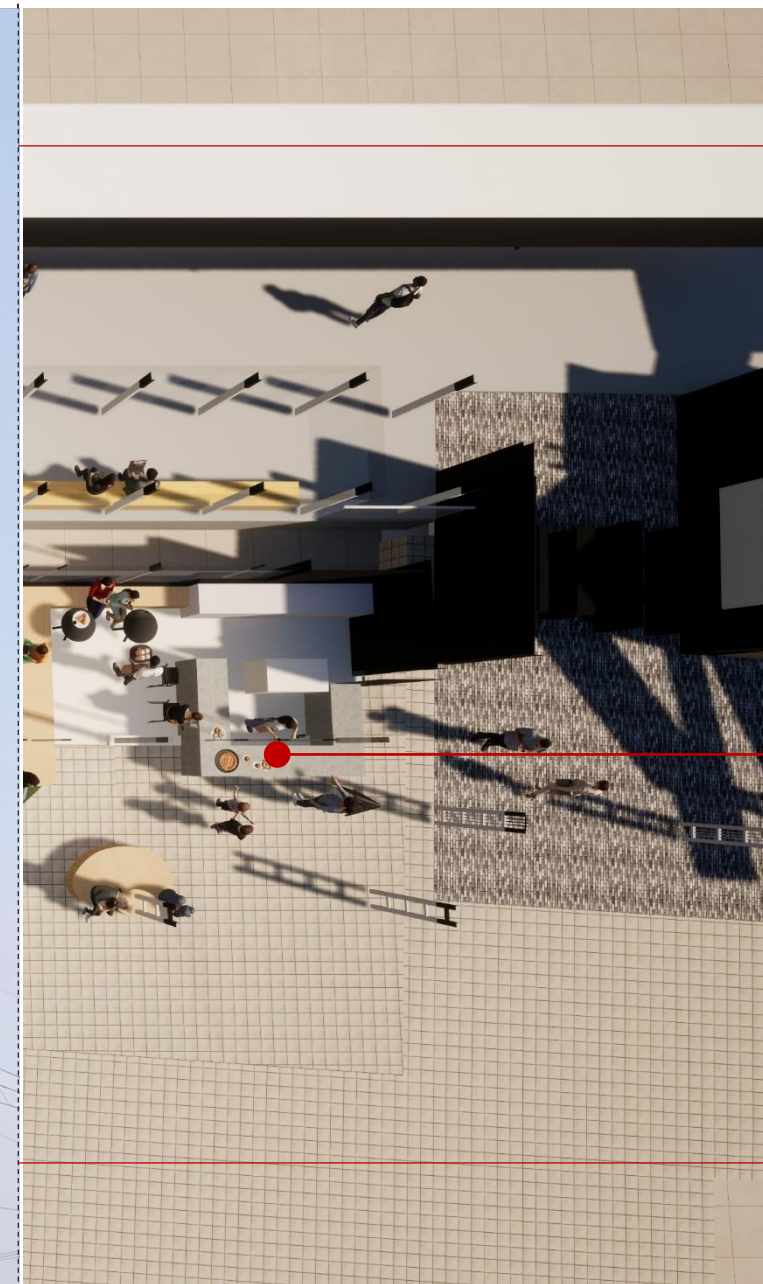
住民主導のイベントやお祭り、奉仕活動が盛んで「自分も何かしてみたい」という人がチャレンジしやすい土壌があります。そんなプレーヤーのステージになるよう近鉄結崎駅周辺の整備を行っています。イベントやチャレンジショップなどが、働く人にとって地域との接点となればと願っています。



川西町では季節折々のイベントが住民主導で行われています。写真は商工会青年部が中止となり、地元在住の大学生らも運営に参画している川西サマーフェスタの様子。

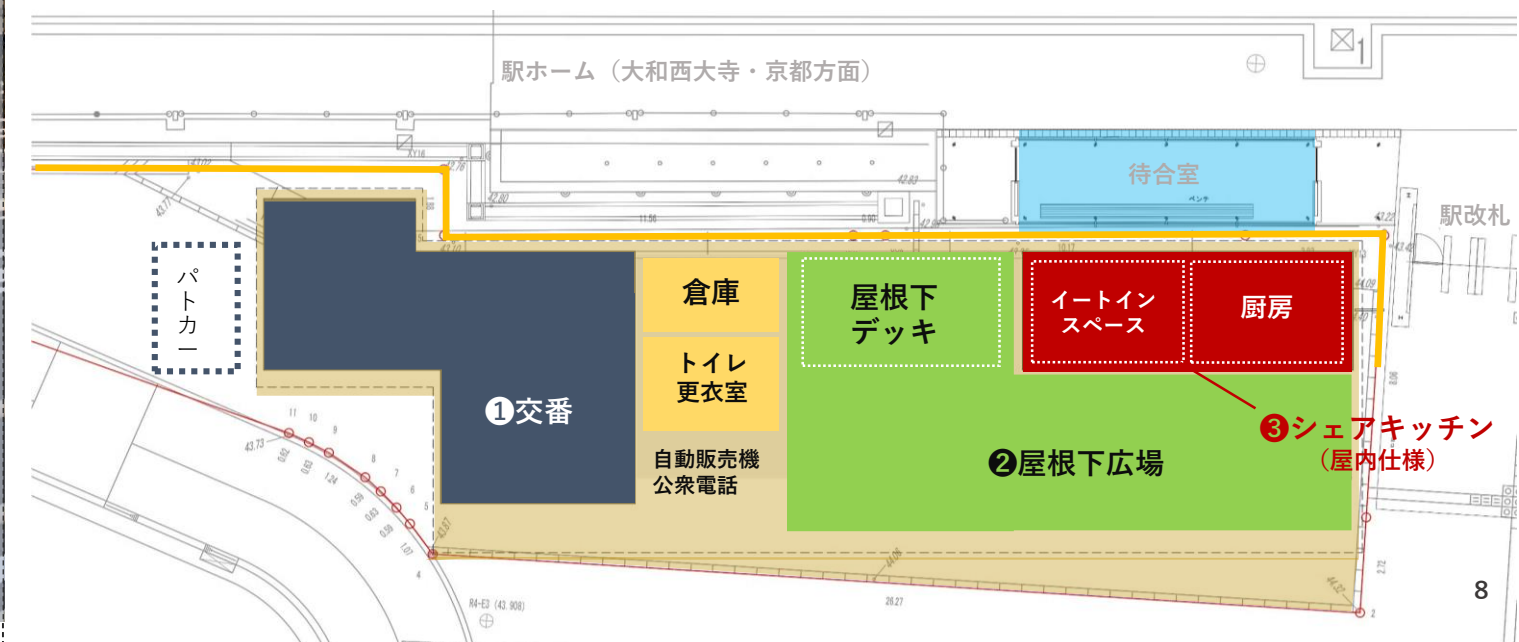


令和5年度「全国学力・学習状況調査（小学校6年生対象）」における『地域社会をよくすることを考える』への関心度が81.0%と高い結果となっています（県平均75.8%）



2025年
OPEN

- ① 交番を設置することで、周辺の安全やマナーの向上が期待されます。
- ② 施設の屋内は、シェアキッチンや飲食スペースを設置。駅を利用する日常に楽しみをつくれます。
- ③ 屋根下広場で天候を気にしない待合い環境。イベントスペースとしても活用。



2024年度 交流施設を整備予定

駅周辺で過ごす時間をさらに快適に楽しく



川西町では近鉄結崎駅周辺が『町の玄関』として、賑わいと交流の拠点となるよう駅舎と周辺環境の整備を進めています。2022年には駅舎、駅前広場とロータリーがリニューアルしました。2025年には、駅舎と隣接した場所に**交流施設がオープン**する予定です。駅舎や駅前広場、ロータリーをシームレスにつなぎ、駅周辺を居心地のいい空間とすることで、鉄道利用者や地域住民の憩いと交流の場となることを目指しています。

【空間デザイン・設計】

川西 康之 氏

株式会社イチバンセン
一級建築士事務所



川西町出身の建築家・デザイナー。
千葉大学卒業、オランダ、フランス等で活動し、帰国後、株式会社イチバンセンを設立。鉄道デザインをはじめ空間デザイン、設計などの分野で活躍。故郷である川西町の近鉄結崎駅の駅舎、駅前広場に引き続き、併設施設のデザイン・設計を担う。J R西日本・近鉄の新型車両等のデザイン、鉄道駅や公共施設のトータルデザインを全国各地で手掛ける。
グッドデザイン賞審査員や千葉大学非常勤講師など幅広い分野で活躍中。



(受賞歴) 英国デザイン協会 SBID 国際デザインアワード最優秀賞、国土交通省 第9回日本鉄道賞 特別表彰 地方鉄道駅舎リノベーション賞、公益社団法人土木学会デザイン賞 最優秀賞 など

2つの工業団地が形成され、企業と共に歩む町

川西町はコンパクトな町域ながら、企業活動が活発な町です。工業統計による「製造品出荷額等」も県内町村の中では約20年連続で1位。ベッドタウンとして住宅地開発がされてきた町ですが、働きに来る人も多く、**昼夜間人口比率が99.9%**（2015国勢調査）となっています。

企業の皆様によって支えられてきた町ではある一方、働きにくる人が職場以外で過ごす場所が少なく、関係人口の多さを活かしたまちづくりが遅れていることが課題の1つです。今後、企業の皆様とよりよい地域づくりを協創していければと考えております。



2023年、企業の皆様とよりよい地域づくりを協創していく共同体として、行政と町内企業の皆様に組織する「**川西まち企業リンク**」を設立しました。



唐院工業団地のエリアを拡張する事業を実施しました（12ha）。今後、拡張したエリアに企業が立地していきます。



Step バスや自動車の乗入れ環境が向上

1 駅前ロータリーと 周辺道路を整備

決まった動線がなく、窮屈なバスや自動車が窮屈に乗入れしていた駅前ロータリー。乗入れする自動車の流れを円滑にする動線確保と、利用者が安全に乗降りできるバスシェルターを整備しました。



After



Before

2021年3月

Step 駅周辺で過ごす時間が充実

2 駅前広場を整備

結崎駅北西側は使われなくなった自転車置き場や空き地、柵をした古墳が放置され「町の玄関口」としては寂しい風景が広がっていました。これらを人工芝やベンチ、植栽などによって、快適に過ごすことができる広場として整備しました。



After



Before

2022年3月

Step 改札からロータリーを近くに

3 駅舎を 移転リニューアル

ロータリーへ移動するには、改札を出てから歩行者が対向できないほど細い路地を使わなければなりません。通勤者の不便を解消するため、駅舎を移転・改札とロータリーを直結しました。



After



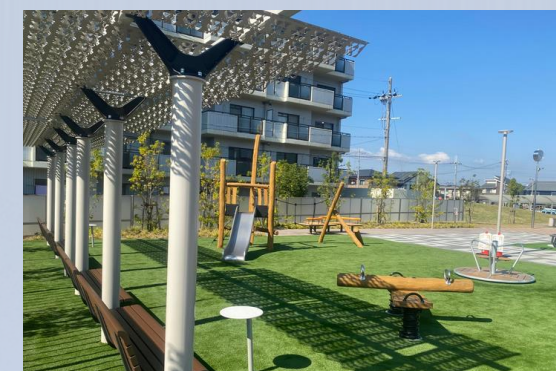
Before

2022年6月

Step 多世代が集える憩いの場に

4 駅前公園を整備

芝生広場にコペン社（デンマーク）の遊具を設置しました。日除けとベンチは木陰の下にいる居心地を再現しています。



After

2023年10月

結崎駅周辺を 通勤に便利なエリアに再整備

交流施設を整備予定

2025年
OPEN

Next Step



駅周辺で過ごす時間を
さらに快適に楽しく